

『ナガサキ 核戦争後の人生』 著者

スーザン・サザード氏 来日講演ツアー【広島・長崎・東京】

東京最終講演（日本語）

ナガサキを語り継ぐ

～ 五人の被爆者との出会いから ～

講演者 スーザン・サザード



アメリカのノンフィクション作家。アンティオーク大学 LA 校で修士号取得。

16歳の時、国際スカラシップ留学生として横浜にホームステイ、修学旅行ではじめて長崎を訪れる。12年後、長崎被爆者、谷口稜暉(すみてる)氏との運命的とも言える出会いにより、長崎原爆に衝撃を受ける。2003年、『ナガサキ』の執筆を決意し、12年の歳月を費やし、2015年の出版に至る。

Nagasaki: Life After Nuclear War 『ナガサキ 核戦争後の人生』（みすず書房、2019年）により、デイトン文学平和賞、J・アンソニー・ルーカス書籍賞受賞。また、『エコノミスト』誌、『ワシントン・ポスト』紙、『カーカス・レビュー』誌の年間ベストブックに選出されている。本書により、21人目となる「長崎平和特派員」に認定。

今回長崎平和追悼記念館の開館 20周年を記念しての長崎講演を含め、広島、神戸、横浜、そして東京を巡る講演ツアーでは、被爆者からの学びをどう未来へと引き継いでいくか、聴衆と共に考えていく。



『ナガサキ-核戦争後の人生』（宇治川康江 訳）【内容紹介】

本書に登場する当時10代の5人の被爆者はじめ数多くの被爆者への、著者によるインタビューを基に、原爆当日の詳細と、苦難に満ちた「長い戦後」が描かれる。また、みずからも被爆しながら治療にあたった医師たちが残した証言や歴史的事実も織り込みながら12年の歳月をかけ書き上げられた本書は、原爆投下70年後の2015年に刊行されるや、「原爆投下不可避」論の根強いアメリカ国内で議論を呼び起こした。2018年8月放映のNHK-Eテレのドキュメンタリー「シリーズ・アメリカと被爆者」第2回「"赤い背中"が残したもの」では、著者サザード氏が出演し、本書の内容と著者の活動、また本書に対するアメリカ人の反応などが紹介されている。

スーザン・サザード氏 東京講演（日本語）（公財）ヒロシマ平和創造基金『ヒロシマピースグラント』の助成事業

日時：2023年 11月3日（金・祝） 13:30～15:30

場所：板橋区立グリーンホール【東武東上線 大山駅・地下鉄都営三田線 板橋区役所前駅・各徒歩5分】

講演内容：講演には、長崎より派遣された朗読グループによる朗読と、講演者と聴衆とのQ&Aが含まれます（通訳あり）

**講演会終了後、書籍の販売とサザード氏によるサイン会を実施予定

入場無料 定員：140名

申込先：お名前、連絡先、参加人数をお書きの上、下記Eメールアドレスへお申し込みください。
cyygj107@yahoo.co.jp（スーザン・サザード氏招聘実行委員会：宇治川）

みすず書房ホームページ：著書の詳細及びチラシ掲載 <https://www.msz.co.jp/news/event/08818-2023tokyo/>

共催：スーザン・サザード氏招聘実行委員会・ヒロシマ講座

後援：みすず書房

問い合わせ先：スーザン・サザード氏招聘実行委員会（宇治川：090-7414-8017 email: cyygj107@yahoo.co.jp）